

検査内容変更のお知らせ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび下記項目につきまして、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

➡ ALPアイソザイム

➡ LDHアイソザイム

アルカリホスファターゼ(ALP)および乳酸脱水素酵素(LDH)の測定法について、日本臨床化学会より「2020年4月から現在のJSCC法をIFCC処方の方法(改定JSCC法)へ変更する(猶予期間1年)」と発表がありました。

これに伴い、ALPアイソザイムにつきまして、IFCC法に準じた試薬での測定に変更いたします。
また、LDHアイソザイムにつきましては、アイソザイム用試薬は現行のまま、活性値をIFCC法で測定する仕様に変更いたします。

現行項目とは基準値、報告形式が異なりますのでご注意ください。

変更日:2021年3月31日(水)受付分より

次ページに続きます。

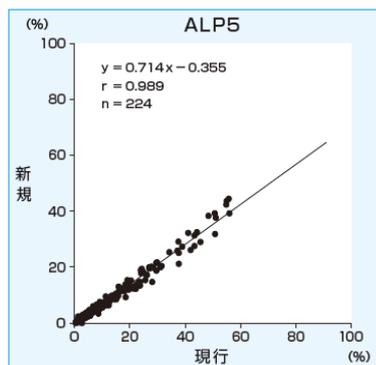
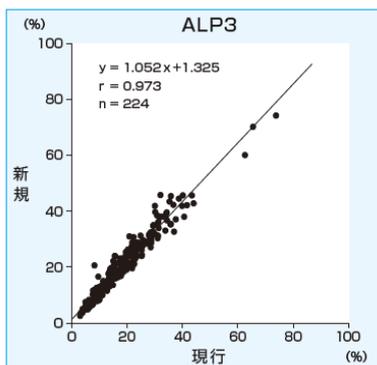
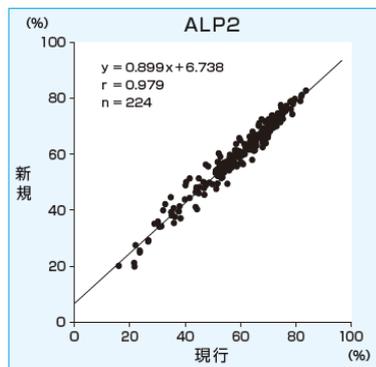
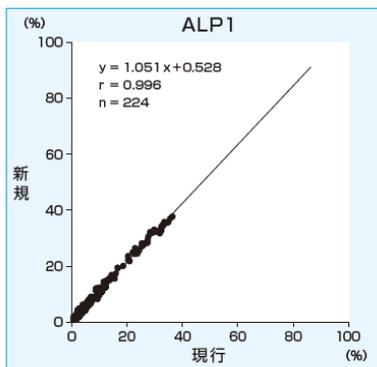
ALPアインザイム

	新規	現行
検査項目名	ALPアインザイム	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~5	同左
検査方法	電気泳動法(アガロース膜)	同左
基準値	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP4 0.0 ALP5 0.0~18.1 ALP6 0.0	ALP1 0 ALP2 36~74 ALP3 25~59 ALP4 0 ALP5 0~16 ALP6 0
単位	%	同左
報告範囲	0.0~100.0	0~100
報告桁数	小数第1位	整数

【参考文献】

星野忠, 他; 臨床化学48 補冊1,229, 2019.□

ご参考: 相関図



BML検討資料

▶LDHアイソザイム

	新規	現行
検査項目名	LDHアイソザイム	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
検体の保存方法	室温	同左
所要日数	3~5	同左
検査方法	電気泳動法(アガロース膜)	同左
基準値	LDH1 20.0~31.0 LDH2 28.8~37.0 LDH3 21.5~27.6 LDH4 6.3~12.4 LDH5 5.4~13.2	LDH1 20~32 LDH2 28~35 LDH3 21~27 LDH4 6~13 LDH5 4~14
単位	%	同左
報告範囲	0.0~100.0	0~100
報告桁数	小数第1位	整数